

安心実現のための緊急総合対策

世界的な原油・食料価格高騰や生活関連物資の価格上昇という状況の下、国民の安心・安全の実現に向け「安心実現のための緊急総合対策」が国で決定されました。

伯耆町は、この取り組みとしてAED設置事業、暖房用灯油助成事業、火災警報器給付事業などを行います。



■火災警報器の普及促進 高齢者世帯を火災から守る

消防法改正により、全住宅に設置が義務付けられた火災警報器の普及促進を図るため、防火への配慮が特に必要なひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などのうち町民税非課税世帯に火災警報器を1世帯あたり2台配付します。

■暖房用灯油助成 冬季の灯油助成で福祉増進

冬季の家庭用暖房燃料の多くを占める灯油価格は、近年不安定であり、福祉的な配慮を要する世帯においては大きな不安要素となっています。こうした家庭の家計負担の軽減を図るため、灯油の助成を行います。

灯油助成の方法としては、対象者に町内の協定灯油小売店で使用できる5千円分の「灯油購入券」を配付するように予定しています。



地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金

緊急総合対策を実施するために伯耆町に交付される交付金額 1,164万円

交付金で実施する主な事業

AED設置事業	434万円
暖房用灯油助成事業	427万円
火災警報器給付事業	277万円

安心実現のための緊急総合対策とは？

- ①生活者の不安解消
 - ②「持続可能社会」への変革加速
 - ③新価格体系への移行と成長力強化
- これら3つの目標を掲げ、その達成に向けて、国民の生活回りの安心・安全を確保するための取り組みなどを推進するものです。

■AEDの設置を推進 救急救命体制を強化

大切な命を守るため町内の公共施設にAED（自動体外式除細動器）を設置し、救急救命体制の強化を図ります。

現在、町内では総合スポーツ公園など公共施設7施設にAEDが設置されていますが、今回、新たに各公民館や小中学校など13施設にAEDを設置します。



家族ができる十か条

- 前号で十か条のうち五項目を掲載しましたが、いかがだったでしょうか？
- ①見逃すな「あれ、何かおかしい？」は、大事なサイン。
 - ②早めに受診を。治る認知症もある。
 - ③知は力。認知症の正しい知識を身につけよう。
 - ④介護保険など、サービスを積極的に利用しよう。
 - ⑤サービスの質を見分ける目を持つとう。
- 今回は、残り五項目を掲載します。ぜひ参考にしてください。

⑦今できることを知り、それを大切に

知能機能が低下し、進行していくのが多くの認知症です。しかし、すべてが失われたわけではありません。失われた能力の回復を求め、残された能力を大切にしましょう。

⑧恥じず、隠さず、ネットワークを広げよう

認知症の人の実態をオープンにすれば、どこかで理解者、協力者が手をあげてくれるはず。公的な相談機関や私的なつながり、地域社会、インターネットなどのさまざまな情報も上手に使い、介護家族の思いを訴えていきましょう。

⑨自分も大切に、介護以外の時間を持つ

介護者にも自分の生活や仕事や生きがいがあるはず。です。「介護で、自分の人生を犠牲にされた。」と思わないように、自分自身の時間を大切にしてください。

⑩往年のその人らしい日々を

介護者の気持ちの安定は、認知症の人にも伝わるものです。

認知症になっても、その人の人生すべてが否定されるわけではない。やがて来る人生の幕引きも考えながら、その人らしい生活を続けられるよう、家族で話し合みましょう。

介護を経験したことの意味があるとしたら、介護を通して家族も、精一杯に生きようと思えたり、認知症の人が「いろんなことができなくなっても、一生懸命生きる姿に」触れて、今、そのさなかにある人に優しくいまなごしを向けられるようになっていくことだと思います。そこまでするのには、家族だけではなかなか頑張りがきれるものではありません。

私たち家族の会では、毎月一回家族の集いを行って

伯耆町障害老人をささえる家族の会 知ってください私たちの会を！

⑥経験者は知恵の宝庫 いつでも気軽に相談を

介護経験者が培ってきた知識や経験は、社会資源の一つ。一人で抱え込まずに経験者に相談し、共感しあい、情報を交換することが、大きな支えになります。

今後の家族の集い(予定)

- ◎とき 1月22日(木) 午後7時30分
- ◎とき 2月26日(木) 午後1時30分
- ◎とき 町立溝口公民館
- ◎とき 岸本保健福祉センター

【問合せ先】

代表世話人 大森紀子
☎62-7143
総合生活相談室
☎68-5535